

平成20年度

大阪府における石綿の健康リスク調査報告書

大阪府

大阪府における石綿の健康リスク調査報告書

目次

1. 目的	2
2. 内容	2
(1) 調査対象者	2
(2) 調査内容	2
(ア) 問診及び登録	2
(イ) 検査の実施	2
(ウ) 医学的所見に基づく翌年度の継続調査協力者の選定	3
(エ) 翌年度以降の継続調査	3
(オ) データの集約	3
3. 結果	4
(1) 調査協力者数	4
(2) 調査協力者の医学的所見・ばく露歴の整理	4
4. 考察	26
5. 今後の予定	26
6. 参考資料	27

1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった大阪府泉南地域及び河内長野市において、石綿関連工場等の周辺住民及び居住歴のある住民等に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の有無や、健康影響との関係に関する知見を収集し、石綿ばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行う。

2. 内容

(1) 調査対象者

原則、平成2年以前に大阪府泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）及び河内長野市に居住歴があり、一般環境を経由した石綿ばく露の可能性のある40歳以上の者を調査対象者とした。

(2) 調査内容

(ア) 問診及び登録

調査対象者を平成19年度の調査協力者（以下、「継続協力者」という。）に加え、新たに泉南地域及び河内長野市の市・町広報紙等により募集。新たな応募者に対し、保健師立ち会いの下、問診を実施し、問診の結果、石綿ばく露の可能性があると認められた者の内、調査協力に対する同意を得られた者を調査協力者として調査登録台帳への登録を行い、今後の検診結果を調査協力者において記録いただくための「石綿ばく露による健康影響管理ノート」を発行した。

(イ) 検査の実施

問診終了後、継続協力者には原則、胸部X線検査のみ実施し、医師が必要と認めるものに対しては胸部CT検査を追加実施した。また、新規協力者に対しては、胸部X線検査及び胸部CT検査を実施した。それぞれの検査については胸部X線検診車及び胸部ヘリカルCT検診車を活用した。

検査実施日	検査内容	受診者数(人)
平成20年11月7日(金)	胸部X線	70
平成20年11月14日(金)	胸部X線	58
平成20年11月25日(火)	胸部X線	46
平成20年12月4日(木)	胸部X線	47
平成20年12月13日(土)	胸部X線・CT	37
平成20年12月21日(日)	胸部X線・CT	40
平成21年1月30日(金)	胸部X線	62
平成21年2月1日(日)	胸部X線・CT	98

なお、過去 1 年以内に胸部 X 線検査や C T 検査を受診している調査協力者については、その際の検診結果や検診データの提示を求め、原則、胸部 X 線及び C T 検査は実施しなかった。

検査結果については、調査協力者に通知するとともに、受診者台帳及び調査登録台帳に登録した。

(ウ) 医学的所見に基づく翌年度以降の継続調査対象者の選定

財団法人大阪がん予防検診センター及び大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターにおいて読影を行った後、医学的所見を確認の上、次のとおり選定することとした。

【医学的所見に基づく選定】

- ① 石綿健康被害救済法の対象疾病となった者は、その時点で調査終了とする。
- ② 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要がないと判断された者は、翌年度以降の継続調査対象とする。
- ③ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後、調査対象者となることを妨げない。
- ④ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、医療の必要がないと判断された者は、翌年度以降の継続調査対象とする。
- ⑤ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、他の疾病により医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後、調査対象者となることを妨げない。

上記②または④と判断された者については、1年後の受診勧奨を行う。

なお、①、③及び⑤と判断された者についても、同意を得た上で、可能な限り、治療経過等の把握に努めることとした。

(エ) 翌年度の継続調査

前記【医学的所見に基づく選定】で②または④と判断された者は、大阪府の受診勧奨により、年 1 回、胸部 X 線検査、必要に応じ胸部 C T 検査等を受診する予定。

なお、検査の内容及び受診の必要性の可否は、前回の検査結果等を総合的に勘案して判断するものとする。

(オ) データの集約

大阪府は、上記(ア)～(エ)の一連の作業について、大阪府アスベスト健康対策専門家会議の意見も聴取して実施し、データ集約を行った。

3. 結果

(1) 調査協力者数

問診・胸部X線検査、胸部CT検査を受診・資料提供した者 458名

このうち、

① 平成2年以前に大阪府泉南地域及び河内長野市に居住していた者 458名

② 上記①のうち、現在も泉南地域及び河内長野市に居住している者 440名

①の受診状況

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
岸和田保健所	46	10.0%	27	11.2%	19	8.8%
泉佐野保健所	47	10.3%	24	9.9%	23	10.6%
がん検診センター	365	79.7%	191	78.9%	174	80.6%
合計	458	100.0%	242	100.0%	216	100.0%

表2-1 年齢階層別受診者数

年齢区分	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
30～39歳	0	-	0	-	0	-
40～49歳	49	10.7%	25	10.3%	24	11.1%
50～59歳	90	19.7%	43	17.8%	47	21.8%
60～69歳	169	36.9%	88	36.4%	81	37.5%
70～79歳	133	29.0%	77	31.8%	56	25.9%
80～89歳	16	3.5%	9	3.7%	7	3.2%
90～99歳	1	0.2%	0	-	1	0.5%
合計	458	100.0%	242	100.0%	216	100.0%

※平成21年2月1日現在(検診日現在の年齢)

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	115	25.1%
問診+胸部X線のみ	339	74.0%
問診+胸部CTのみ	0	-
問診のみ	4	0.9%
合計	458	100.0%

※平成21年2月1日現在

(2) 調査協力者の医学的所見・ばく露歴の整理

調査協力者の医学的所見・ばく露歴について、A～C表に整理し、以下のとおり、取りまとめた。

A表：2008年度受診者

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
1	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	肺気腫	
2	女	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	腎のう胞	
3	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
4	男	1920代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●					ア	肺気腫	
5	男	1930代	⑨,⑩	検診せず	増悪	-	⑩	●					ア	結節影	
6	女	1930代	なし	検診せず	不変	-	なし	●					ア		
7	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
8	男	1930代	なし	⑩	不変	-	⑩	●					ア	左右上肺野小結節	
9	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
10	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
11	男	1930代	⑧	⑧	不変	-	⑧	●					ア	左S8・8mm大結	
12	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
13	女	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア	肋骨横隔膜角鈍化	
14	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	気腫性変化	
15	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	気腫性変化	
16	女	1930代	なし	検診せず	不変	-	なし	●					ア		
17	男	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩	●					ア	索状影	
18	男	1940代	-	-	なし	なし	なし	●					ア		
19	女	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩	●					ア	両中～下肺野の胸膜肥厚・両下肺野の索状影、左腎のう胞	
20	男	1960代	-	-	なし	なし	なし	●					ア		
21	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●					ア	結節影	
22	女	1950代	-	-	なし	⑩	⑩	●					ア	癒痕影	
23	男	1960代	-	-	なし	なし	なし	●					ア		
24	男	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩	●					ア	両肺に多発する結節影・浸潤影・空洞影	
25	男	1930代	②,⑥	②,⑥	不変	-	②,⑥	●					ア		
26	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
27	男	1920代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●					ア		
28	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●					ア	肺気腫	
29	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
30	女	1920代	②,⑩	②,⑩	増悪	-	②	●					ア	胸膜ブランク(石灰化なし)、索状	
31	男	1940代	②	②	不変	-	②	●					ア		
32	女	1940代	②	②	不変	-	②	●					ア		
33	男	1940代	②	②	不変	-	②	●					ア		
34	男	1940代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●					ア	気腫性変化	
35	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
36	男	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
37	女	1940代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●					ア		
38	男	1930代	②,⑥,⑧,⑨	②,⑥,⑧,⑨	不変	-	②,⑥,⑧,⑨	●					ア		
39	男	1930代	②,⑥,⑨,⑩	②,⑥,⑨,⑩	不変	-	②,⑥,⑨,⑩	●					ア	気管支拡張	
40	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
41	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●					ア	プラ.気腫性変化	
42	男	1930代	②,⑨,⑩	検診せず	不変	-	②,⑨,⑩	●					ア		

症例番号	性別	生年 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年 度 X線所見	2008年 度 CT	最新の 所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露 歴分 類案	備考 (その他所見)	備考 (終了 理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
43	男	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	胸部大動脈拡張、気管支拡張	
44	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
45	男	1940代	②,⑤,⑥,⑩	②,⑤,⑥,⑩	新所見	-	②,⑩	●					ア	胸膜ブランク(石灰化なし)、C-P A鈍化	
46	女	1940代	②	②	不変	-	②	●					ア		
47	男	1950代	なし	検診せず	不変	-	なし	●					ア		
48	男	1940代	なし	なし	新所見	-	②,⑩	●					ア	胸膜ブランク(石灰化あり)、左肺尖陰影	
49	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
50	男	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●					ア	胸膜肥厚	
51	男	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●					ア	気腫性変化	
52	女	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●					ア	気腫性変化	
53	女	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
54	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア	心拡大	
55	男	1930代	②,⑧,⑩	②,⑧,⑩	不変	-	②,⑧,⑩	●					ア	気腫性変化	
56	女	1940代	なし	⑩	不変	-	⑩	●					ア	右上肺野結節影	
57	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
58	女	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
59	男	1930代	なし	検診せず	不変	-	なし	●					ア		
60	女	1930代	⑨	⑨	不変	-	⑨	●					ア		
61	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
62	男	1950代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●					ア	気腫性変化	
63	男	1930代	②	②	増悪	-	⑩	●					ア	左下野索状影	
64	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
65	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし	●					ア		
66	男	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
67	男	1940代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●					ア	気腫性変化	
68	女	1930代	②,③	検診せず	不変	-	②,③	●					ア		
69	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●					ア	肋骨横隔膜角鈍化	
70	女	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
71	男	1930代	②	②	不変	-	②	●					ア		
72	男	1930代	⑨	⑨	不変	-	⑨	●					ア		
73	男	1950代	②,⑩	②,⑩	新所見	-	②,⑩	●					ア	胸膜ブランク(石灰化あり)、両肺尖ブラ・左上肺野外側胸膜肥厚	
74	女	1940代	-	なし	不変	-	なし	●					ア		
75	男	1940代	-	②,⑥	不変	-	②,⑥	●					ア		
76	女	1930代	-	②	不変	不変	②	●					ア		
77	男	1930代	-	なし	不変	-	なし	●					ア		
78	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩	●					ア	肺気腫	
79	女	1930代	-	-	なし	なし	なし	●					ア		
80	男	1950代	-	-	なし	⑩	⑩	●					ア	肺気腫	
81	男	1940代	-	-	②	②	②	●					ア	胸膜ブランク(石灰化あり)	
82	男	1930代	-	②	不変	不変	②	●					ア		
83	男	1960代	-	⑩	不変	-	⑩	●					ア	右S4・3mm結節	
84	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩	●					ア	肺尖の陳旧性変化	
85	男	1950代	-	②	不変	不変	②	●					ア		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
86	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩	●					ア	胸膜肥厚、胸膜石灰化、プラ	
87	男	1930代	-	②	不変	不変	②	●					ア		
88	男	1930代	-	⑥	不変	-	⑥	●					ア		
89	男	1930代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩	●					ア	両肺尖胸膜肥厚、右S4粒状影	
90	男	1940代	-	-	②	②	②	●					ア	胸膜プラーク(石灰化なし)	
91	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●					ア	左胸膜肥厚	
92	男	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩	●					ア	Wt-S5の索状影、S8炎症像	
93	男	1940代	-	-	なし	②,⑩	②,⑩	●					ア	胸膜プラーク(石灰化なし)、左腎のう胞、結節	
94	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●					ア	両肺尖胸膜肥厚、肝左葉低吸	
95	男	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩	●					ア	横隔膜面索状影、気管支拡張、右肺尖胸膜	
96	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●	●				ア		
97	男	1940代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		
98	男	1940代	②,⑥,⑩	検診せず	不変	-	②,⑥,⑩	●	●				ア	肺気腫	
99	男	1940代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●	●				ア	心膜プラーク	
100	男	1940代	②,⑤,⑨,⑩	②,⑤,⑨,⑩	不変	-	②,⑤,⑨,⑩	●	●				ア	気管支拡張、気腫性変化	
101	男	1940代	②,⑤,⑥,⑩	②,⑤,⑥,⑩	不変	-	②,⑤,⑥,⑩	●	●				ア	斑状影	
102	男	1930代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩	●	●				ア	右腎のう胞	
103	男	1940代	-	⑨	不変	不変	⑨	●	●				ア		
104	男	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩	●	●				ア	左右下葉結節3mm超	
105	女	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩	●	●	●		●	ア	粒状影、右胸膜肥厚、右術後変	
106	女	1960代	-	⑩	不変	-	⑩	●	●		●	●	ア	右胸膜下策状影	
107	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●	●			●	ア	気管支拡張	
108	男	1930代	②	②	不変	-	②	●	●				ア		
109	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●	●				ア		
110	男	1940代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		
111	男	1940代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		
112	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし	●	●				ア		
113	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし	●	●				ア		
114	女	1940代	②,⑤,⑥,⑨	②,⑤,⑥,⑨	不変	-	②,⑤,⑥,⑨	●	●				ア		
115	女	1940代	②,⑤,⑧,⑩	②,⑤,⑧,⑩	不変	-	②,⑤,⑧,⑩	●	●				ア	両肺野胸壁下小結節散在	
116	女	1930代	②,⑥,⑩	②,⑥,⑩	不変	-	②,⑥,⑩	●	●				ア	気管支拡張、プラ	
117	男	1930代	②,⑤,⑥	検診せず	新所見	-	⑩	●	●				ア	CPO	
118	男	1920代	②,⑥,⑩	②,⑥,⑩	不変	-	②,⑥,⑩	●	●				ア	気管支拡張	
119	女	1930代	②,⑤,⑥	②,⑤,⑥	不変	-	②,⑤,⑥	●	●				ア		
120	女	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●	●				ア	気腫性変化	
121	女	1930代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		
122	男	1930代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		
123	女	1930代	②,⑩	②,⑩	新所見	-	⑩	●	●				ア	結節影	
124	男	1930代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨	●	●				ア		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
125	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●		●			ア		
126	女	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●		●			ア	気腫性変化	
127	女	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●		●			ア	結節影	
128	女	1940代	-	-	②	②⑩	②⑩	●		●			ア	胸膜プラーク(石灰化あり)、胸膜肥厚	
129	女	1920代	-	-	⑩	⑩	⑩	●		●			ア	炎症性変化(小結節影、限局的浸潤影)	
130	女	1940代	-	-	なし	なし	なし	●		●			ア		
131	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●		●			ア	索状影、結節影	
132	男	1940代	-	-	②	②	②	●		●			ア	胸膜プラーク(石灰化あり)	
133	男	1940代	-	なし	不変	-	なし	●		●			ア		
134	男	1930代	-	-	②⑩	②⑦	②⑦	●		●			ア	胸膜プラーク(石灰化あり)、円形無気肺、肺気腫	
135	女	1950代	②,⑧,⑩	②,⑧,⑩	不変	不変	②,⑧,⑩	●		●	●		ア	気管支拡張、プラ	
136	女	1930代	②,⑨,⑩	検診せず	不変	-	②,⑨,⑩	●		●	●		ア	気腫性変化	
137	男	1940代	②	②	不変	-	②	●		●	●	●	ア		
138	男	1940代	-	-	⑩	⑥⑩	⑥,⑩	●		●	●	●	ア	肺野間質影(線維症)、左上葉に気管支拡張を伴った炎症後変化の疑い、肺気腫	
139	女	1920代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●		●		●	ア	左中肺野小結節、気管支拡張	
140	女	1930代	-	⑤,⑥	不変	不変	⑤,⑥	●		●		●	ア		
141	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●		●		●	ア		
142	男	1930代	②,⑦,⑩	②,⑦,⑩	不変	-	②,⑦,⑩	●		●		●	ア	左横隔膜角鈍化	
143	女	1940代	⑧	⑧	不変	不変	⑧	●		●		●	ア		
144	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩	●		●		●	ア	肋骨横隔膜角鈍化	
145	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●		●		●	ア	肺気腫	
146	男	1930代	②,⑤,⑨,⑩	②,⑤,⑨,⑩	新所見	-	⑩	●		●		●	ア	結節影	
147	女	1930代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩	●		●		●	ア	肋骨横隔膜角鈍化	
148	男	1940代	-	なし	不変	-	なし	●		●		●	ア		
149	女	1940代	-	なし	不変	-	なし	●		●		●	ア		
150	女	1930代	-	-	なし	なし	なし	●		●		●	ア		
151	女	1930代	-	-	なし	⑩	⑩	●		●		●	ア	索状影、両側上胸膜肥厚、中葉の気管支拡張症	
152	男	1930代	-	-	⑩	②⑩	②⑩	●		●		●	ア	胸膜プラーク(石灰化あり)、癒痕	
153	男	1940代	②	②	不変	-	②	●				●	ア		
154	男	1930代	②,⑥,⑩	②,⑥,⑩	不変	-	②,⑥,⑩	●				●	ア	プラ	
155	男	1940代	-	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
156	男	1940代	⑩	⑩	新所見	-	⑩	●				●	ア	結節影	
157	男	1940代	-	②	不変	-	②	●				●	ア		
158	男	1960代	-	⑩	不変	-	⑩	●				●	ア	両肺尖硬化巣	
159	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩	●				●	ア	炎症後変化	

症例番号	性別	生年 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年 度 X線所見	2008年 度 CT	最新の 所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露 歴分 類案	備考 (その他所見)	備考 (終了 理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
160	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩	●			●	●	ア	左S1+2結節影	
161	男	1960代	-	⑩	不変	-	⑩	●			●	●	ア	肺尖部胸膜肥厚	
162	女	1940代	②,⑤,⑥, ⑨,⑩	②,⑤,⑥, ⑨,⑩	不変	-	②,⑤, ⑥,⑨, ⑩	●				●	ア	炎症後変化	
163	女	1930代	②	②	不変	-	②	●				●	ア		
164	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
165	男	1940代	⑧,⑨,⑩	⑧,⑨,⑩	不変	-	⑧,⑨, ⑩	●				●	ア	肺気腫	
166	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨, ⑩	●				●	ア	プラ	
167	男	1930代	-	-	⑥	⑥⑩	⑥,⑩	●				●	ア	両下肺野間質 影、右胸膜肥 厚、石灰化結節	
168	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
169	男	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●				●	ア	気腫性変化,気管 支拡張	
170	男	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩	●				●	ア	肺気腫	
171	女	1910代	②,⑥,⑨,⑩	検診せず	不変	-	②,⑥, ⑨,⑩	●				●	ア	気管支拡張、気 腫性変化	
172	女	1930代	②,⑨	②,⑨	新所見	-	②,⑩	●				●	ア	胸膜ブランク(石 灰化あり)、右下 野不整形陰影	
173	男	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩	●				●	ア	左中肺野斑状影	
174	男	1940代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨, ⑩	●				●	ア	結節影増大、気 腫性変化	
175	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
176	男	1940代	②,⑤,⑥	②,⑤,⑥	不変	-	②,⑤, ⑥	●				●	ア		
177	女	1950代	-	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
178	男	1940代	-	-	②	②⑩	②⑩	●				●	ア	胸膜ブランク(石 灰化あり)、肺内 結節(石灰化を	
179	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩	●				●	ア	索状影	
180	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩	●				●	ア	左S8小結節	
181	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩	●				●	ア	両肺尖胸膜肥厚	
182	男	1950代	-	⑥,⑩	不変	不変	⑥,⑩	●				●	ア	肺気腫	
183	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩	●				●	ア	胸膜肥厚	
184	男	1930代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩	●				●	ア	肺気腫	
185	男	1960代	-	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
186	男	1940代	-	②	不変	不変	②	●				●	ア		
187	男	1940代	-	なし	不変	-	なし	●				●	ア		
188	男	1940代	-	-	なし	なし	なし	●				●	ア		
189	男	1930代	-	-	なし	⑩	⑩	●				●	ア	左上葉の瘢痕像	
190	男	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩			●			イ	肺気腫	
191	男	1960代	なし	⑩	不変	-	⑩			●			イ	左上肺野結節	
192	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		
193	男	1930代	②,③,⑥,⑨	②,③,⑥,⑨	増悪	-	②			●			イ	胸膜ブランク(石 灰化あり)	
194	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		
195	男	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩			●			イ	気腫性変化,気管 支拡張	
196	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		
197	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		
198	女	1920代	⑨	⑨	不変	-	⑨			●			イ		
199	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		
200	男	1930代	なし	なし	不変	-	なし			●			イ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)	
								ア	イ	ウ	エ	オ				
201	男	1950代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨		●					イ		
202	女	1960代	⑩	⑩	不変	-	⑩		●					イ	気管支拡張	
203	男	1960代	なし	なし	不変	-	⑩		●					イ		
204	男	1950代	-	なし	不変	-	なし		●					イ		
205	女	1920代	-	-	②⑩	②⑩	②⑩		●					イ	胸膜プラーク(石灰化あり)、石灰化像	
206	男	1960代	-	⑩	不変	不変	⑩		●					イ	右S4粒状影	
207	男	1960代	-	なし	不変	-	なし		●					イ		
208	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩		●					イ	右S9結節4mm	
209	女	1960代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨		●	●				イ		
210	男	1960代	-	-	なし	⑩	⑩		●	●				イ	結節影	
211	女	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩		●	●				イ	胸膜肥厚	
212	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし		●	●		●		イ		
213	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●	●		●		イ	右下葉炎症後変化	
214	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし		●		●			イ		
215	男	1960代	-	⑩	不変	-	⑩		●		●			イ	右肺尖胸膜肥厚	
216	男	1920代	-	⑩	不変	不変	⑩		●		●			イ	右S4GGO	
217	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●		●	●		イ	肝のう胞?、左中肺野索状影	
218	男	1960代	-	⑨,⑩	不変	-	⑨		●		●	●		イ	左S5索状影	
219	女	1930代	②	②	不変	-	②		●			●		イ		
220	男	1940代	②	②	不変	-	②		●			●		イ		
221	男	1940代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩		●			●		イ	肋骨横隔膜角鈍化	
222	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし		●			●		イ		
223	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし		●			●		イ		
224	男	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	左下肺野小結節	
225	男	1940代	⑨,⑩	⑨,⑩	不変	-	⑨,⑩		●			●		イ	気腫性変化	
226	男	1930代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨		●			●		イ		
227	男	1930代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩		●			●		イ	肺気腫	
228	女	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩		●			●		イ	左下索状影	
229	男	1950代	-	-	なし	⑩	⑩		●			●		イ	索状影	
230	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	肺尖胸膜肥厚	
231	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩		●			●		イ	左S3,4小結節	
232	男	1960代	-	なし	不変	-	なし		●			●		イ		
233	女	1960代	-	なし	不変	-	なし		●			●		イ		
234	男	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩		●			●		イ	右S3結節3mm	
235	男	1960代	-	なし	不変	-	なし		●			●		イ		
236	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	右S8索状影	
237	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	左乳切除後、右S3-S6気管支、血管収束像	
238	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	肺尖胸膜肥厚	
239	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩		●			●		イ	右S3結節、肺気	
240	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩		●			●		イ	両肺尖線状影	
241	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●				ウ		
242	女	1960代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩			●				ウ	気腫性変化	
243	男	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●				ウ		
244	女	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩			●				ウ	左下野石灰像、気腫性変化	
245	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●				ウ		
246	女	1940代	なし	検診せず	新所見	-	⑩			●				ウ	結節影	
247	男	1940代	⑨	検診せず	不変	-	⑨			●				ウ		
248	女	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩			●				ウ	気管支拡張	
249	女	1940代	-	なし	不変	-	なし			●				ウ		
250	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩			●				ウ	左乳房石灰化	

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
251	男	1930代	-	-	なし	なし	なし			●			ウ		
252	女	1960代	-	なし	不変	-	なし			●			ウ		
253	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●	●		ウ		
254	男	1960代	⑨	⑨	不変	-	⑨			●	●		ウ		
255	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●	●		ウ		
256	女	1940代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨			●	●		ウ		
257	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし			●	●		ウ		
258	男	1950代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨			●	●		ウ		
259	男	1960代	②	②	不変	-	②			●	●		ウ		
260	女	1960代	-	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
261	女	1940代	②,⑨	検診せず	不変	-	②,⑨			●	●	●	ウ		
262	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
263	女	1930代	②	検診せず	不変	-	②			●	●	●	ウ		
264	男	1950代	②	②,⑩	不変	-	②,⑩			●	●	●	ウ	右中肺野帯状影	
265	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
266	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ	肺気腫	
267	男	1950代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩			●	●	●	ウ		
268	男	1960代	②	②	不変	-	②			●	●	●	ウ		
269	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
270	女	1940代	②,⑤,⑥	②,⑤,⑥	不変	-	②,⑤,⑥			●	●	●	ウ		
271	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
272	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
273	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
274	女	1940代	なし	なし	不変	-	⑩			●	●	●	ウ		
275	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
276	女	1940代	-	-	なし	⑩	⑩			●	●	●	ウ	It-S5に索状影	
277	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	ウ	左下葉炎症様所見	
278	男	1940代	-	なし	不変	-	なし			●	●	●	ウ		
279	女	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩			●	●	●	ウ	右S7結節	
280	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	ウ	肝のう胞	
281	女	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩			●	●	●	ウ	左S5索状影と石灰化、甲状腺右葉に低吸収域	
282	男	1920代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	不変	-	②,⑨,⑩			●	●	●	エ	ブラ、肺気腫	
283	男	1960代	⑩	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	気管支拡張	
284	男	1960代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	エ		
285	女	1940代	-	-	なし	⑩	⑩			●	●	●	エ	索状影、胆石	
286	男	1950代	-	-	なし	なし	なし			●	●	●	エ		
287	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	左肺尖・左中肺野索状～斑状影	
288	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	エ		
289	女	1960代	⑩	⑩	新所見	-	⑩			●	●	●	エ	肺気腫・肋骨骨	
290	男	1960代	-	-	なし	⑩	⑩			●	●	●	エ	右大葉胸膜肥厚、結節影	
291	女	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	粒状影	
292	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし			●	●	●	エ		
293	男	1950代	②	②	不変	-	②			●	●	●	エ		
294	男	1940代	-	-	なし	なし	なし			●	●	●	エ		
295	女	1940代	-	-	②	②	②			●	●	●	エ	胸膜ブランク(石灰化あり)	
296	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	小結節、bleb or bulla	
297	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	左副腎腫大疑い、左スリガラス	
298	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	炎症後変化	
299	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩			●	●	●	エ	両肺尖硬化巣	

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
300	男	1950代	-	⑩	新所見	-	⑩				●	●	エ	両肺尖胸膜肥厚、左下野斑状	
301	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩				●	●	エ	肺気腫	
302	男	1940代	-	なし	不変	-	なし				●	●	エ		
303	女	1930代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩				●	●	エ	右中葉索状影	
304	女	1960代	-	なし	不変	-	なし				●	●	エ		
305	女	1960代	-	⑩	不変	不変	⑩				●	●	エ	右S4結節	
306	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩				●	●	エ	肝右葉低吸収域	
307	女	1950代	-	なし	不変	-	なし				●	●	エ		
308	男	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩				●	●	エ	右S8結節4mm	
309	女	1950代	-	なし	不変	-	なし				●	●	エ		
310	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩				●	●	エ	右S5粒状影、炎症後変化	
311	女	1930代	-	②,⑩	不変	-	②,⑩				●	●	エ	慢性気管支拡張、慢性炎症疑	
312	男	1950代	-	-	⑩	⑩	⑩				●	●	エ	両肺尖胸膜肥厚、石灰化	
313	男	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩				●	●	エ	Wt-S6に小結節(3mm)、両肺尖胸膜肥厚、右肺尖ブラ	
314	男	1950代	-	-	なし	⑩	⑩				●	●	エ	右肺胸膜肥厚	
315	女	1950代	-	-	なし	⑩	⑩				●	●	エ	両側乳房内多発高吸収域	
316	男	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩				●	●	エ	左下葉斑状影	
317	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
318	女	1940代	なし	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	粒状影	
319	男	1930代	なし	なし	新所見	-	⑩				●	●	オ	小結節影	
320	女	1950代	⑩	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	ブラ	
321	男	1920代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
322	男	1930代	②,③	検診せず	不変	-	②,③				●	●	オ		
323	女	1930代	⑨,⑩	⑨,⑩	不変	-	⑨,⑩				●	●	オ	気腫性変化	
324	女	1930代	⑧,⑩	⑧,⑩	不変	-	⑧,⑩				●	●	オ	気管支拡張症	
325	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
326	女	1940代	②	②	不変	-	②				●	●	オ		
327	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
328	男	1920代	⑩	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	左横隔膜挙上	
329	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
330	男	1950代	-	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
331	女	1950代	-	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
332	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	肺尖胸膜肥厚、右S5炎症後変化	
333	女	1940代	-	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
334	女	1930代	-	-	②	②⑩	②⑩				●	●	オ	胸膜ブランク(石灰化あり)、肝のう胞・左腎結石の疑い	
335	女	1950代	-	-	なし	なし	なし				●	●	オ		
336	女	1960代	-	-	なし	なし	なし				●	●	オ		
337	女	1940代	-	-	②	⑩	⑩				●	●	オ	右胸膜石灰像	
338	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
339	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		
340	男	1940代	②,⑧,⑩	②,⑧,⑩	不変	-	②,⑧,⑩				●	●	オ	肺気腫	
341	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	気腫性変化	
342	女	1960代	⑩	⑩	不変	-	⑩				●	●	オ	気腫性変化	
343	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし				●	●	オ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	A.直接職歴あり I.間接職歴あり U.家庭内ばく露あり E.立入・屋内環境ばく露あり O.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								A	I	U	E	O			
344	女	1920代	⑨,⑩	⑨,⑩	不変	-	⑨,⑩					●	オ	食道裂孔ヘルニア疑い	
345	女	1950代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
346	男	1930代	①	①	増悪	-	①,④					●	オ	胸水貯留、胸膜腫瘍の疑い	
347	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
348	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
349	女	1940代	②	②	不変	-	②					●	オ		
350	男	1920代	②,⑤,⑦	②,⑤,⑦	不変	-	②,⑤,⑦					●	オ		
351	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
352	女	1950代	②,⑦	②,⑦	不変	-	②,⑦					●	オ		
353	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
354	男	1930代	②	②	不変	-	②					●	オ		
355	男	1930代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	炎症後変化	
356	女	1930代	②,⑩	②,⑩	不変	-	②,⑩					●	オ	心肥大	
357	女	1940代	⑧,⑩	⑧,⑩	不変	-	⑧,⑩					●	オ	気腫性変化	
358	男	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
359	女	1940代	⑨,⑩	⑨,⑩	不変	-	⑨,⑩					●	オ	肺気腫	
360	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
361	女	1960代	なし	検診せず	不変	-	なし					●	オ		
362	女	1930代	②	②	不変	-	②					●	オ		
363	女	1930代	②	②	不変	-	②					●	オ		
364	女	1930代	⑩	⑩	増悪	-	②,⑩					●	オ	胸膜プラーク(石灰化なし)、無気結節影	
365	男	1940代	なし	なし	増悪	-	⑩					●	オ	気腫性変化	
366	女	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	気腫性変化	
367	女	1960代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
368	女	1940代	⑩	⑩	不変	-	⑩					●	オ	気腫性変化	
369	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
370	女	1930代	なし	検診せず	不変	-	なし					●	オ		
371	女	1930代	②,⑧,⑨	②,⑧,⑨	不変	-	②,⑧,⑨					●	オ		
372	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
373	男	1930代	②,⑨	②,⑨	不変	-	②,⑨					●	オ		
374	女	1940代	なし	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右肺尖部小結節	
375	男	1930代	②	②	不変	-	②					●	オ		
376	女	1930代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
377	女	1940代	なし	なし	不変	-	なし					●	オ		
378	男	1930代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
379	女	1940代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
380	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	粒状影	
381	男	1930代	-	-	②	②,⑩	②,⑩					●	オ	胸膜プラーク(石灰化あり)、右腎萎縮	
382	女	1950代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右肺尖部胸膜肥厚	
383	男	1960代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
384	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肺内石灰化、食道ヘルニア	
385	男	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	小結節影3mm、葉間リンパ節	
386	女	1940代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
387	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	小石灰化結節、胆石	
388	女	1950代	-	⑩	新所見	-	⑩					●	オ	左下結節影	
389	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肺尖部胸膜肥厚、炎症後変化	

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	A.直接職歴あり I.間接職歴あり U.家庭内ばく露あり E.立入・屋内環境ばく露あり O.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								A	I	U	E	O			
390	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右小石灰化、甲状腺のう胞、左葉間胸膜肥厚	
391	女	1950代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
392	女	1920代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左中肺野石灰化索状影	
393	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	両肺横隔膜面線状影	
394	女	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肝のう胞、左腎のう胞	
395	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左下肺線状影	
396	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	両中肺野斑状～索状影	
397	女	1940代	-	なし	新所見	-	⑩					●	オ	右上野に索状影	
398	女	1940代	-	⑩	不変	増悪	⑩					●	オ	右肺尖胸膜肥厚、右下葉結節	
399	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S5胸膜肥厚	
400	男	1920代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肺尖部石灰化	
401	女	1940代	-	⑩	新所見	-	⑩					●	オ	左下斑状影	
402	男	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S6索状影	
403	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左腎のう胞、左腎石、左下肺野スリガラス陰影	
404	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S9索状影+小結節	
405	女	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右中葉索状影、右中肺野小結節	
406	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右肺尖胸膜肥厚	
407	男	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S5,8粒状影、斑状影	
408	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	舌区炎症後変化、甲状腺左葉低吸収域	
409	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左下葉炎症様所見	
410	女	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S2GGO	
411	男	1950代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
412	女	1940代	-	②	不変	不変	②					●	オ		
413	女	1960代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肺尖部胸膜肥厚	
414	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肺気腫	
415	女	1960代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	石灰化	
416	女	1960代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右上中葉間結節	
417	男	1950代	-	⑩	不変	新所見	⑩					●	オ	右肺尖ブラ、左下葉の小結節影	
418	女	1960代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	葉間結節3mm	
419	男	1940代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
420	女	1950代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S1結節4mm	
421	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	前縦隔腫瘤	
422	女	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S3結節3mm2	
423	女	1940代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
424	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S8結節3mm	
425	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右中葉、左舌区索状～斑状影	
426	女	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	胸膜肥厚+硬化	
427	男	1920代	-	⑩	増悪	-	⑩					●	オ	左上肺野結節	
428	女	1930代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	右S5結節影	
429	男	1920代	-	①,⑦	不変	-	①,⑦					●	オ		
430	男	1930代	-	②	不変	不変	②					●	オ		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
431	女	1940代	-	⑩	不変	不変	⑩					●	オ	肺気腫、プラ、GGO	
432	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	硬化巣、索状影	
433	女	1920代	-	②,⑩	不変	不変	②,⑩					●	オ	左S9結節3mm	
434	男	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S5索状影	
435	女	1950代	-	⑩	不変	増悪	⑩					●	オ	両肺尖胸膜肥厚、肝のう胞、結	
436	女	1920代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S9プラ	
437	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右S4索状影、左S5不整形陰影	
438	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	肝のう胞	
439	男	1940代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
440	女	1940代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左副腎腫瘍	
441	男	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	左S5索状影	
442	男	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右上葉・左右下葉不整形陰影、	
443	女	1950代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右S5索状影	
444	女	1930代	-	⑩	不変	-	⑩					●	オ	右S6粒状影+石灰像、肝右葉の	
445	男	1960代	-	なし	不変	-	なし					●	オ		
446	女	1940代	-	-	⑩	⑩	⑩					●	オ	両肺尖胸膜肥厚、右中索状影、左下石灰化結節影、癒痕像	
447	男	1950代	-	-	なし	なし	なし					●	オ		
448	女	1950代	-	-	なし	なし	なし					●	オ		
449	女	1940代	-	-	なし	なし	なし					●	オ		
450	女	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩					●	オ	プラ、粒状影	
451	男	1920代	-	-	⑩	⑩	⑩					●	オ	右腎のう胞、左下葉索状影	
452	女	1930代	-	-	なし	なし	なし					●	オ		
453	男	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩					●	オ	右中葉索状影、右下葉プラ	
454	女	1930代	-	-	なし	⑩	⑩					●	オ	左腎洞腫瘍、右上小結節、右中索状影、胆石	
455	男	1940代	-	-	なし	⑩	⑩					●	オ	右S1にプラ	
456	男	1930代	-	-	⑩	⑩	⑩					●	オ	右下結節影	
457	女	1930代	-	-	なし	⑩	⑩					●	オ	右下小結節影	
458	女	1950代	-	-	なし	なし	なし					●	オ		
計458名(男性:242名、女性:216名)								189	63	92	63	272			

A表(別表):2008年度受診していない方(過去に受診歴のある方)

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
1	男	1930代	②,⑤,⑧,⑨	受診せず	受診せず	-	②,⑤,⑧,⑨	●					ア		
2	女	1930代	⑦,⑨,⑩	受診せず	受診せず	-	⑦,⑨,⑩	●					ア		
3	女	1940代	なし	なし	受診せず	-	なし	●					ア		
4	男	1940代	なし	受診せず	受診せず	-	なし	●					ア		
5	女	1930代	②,⑨,⑩	受診せず	受診せず	-	②,⑨,⑩	●					ア	気管支拡張,肺気腫	

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア直接職歴あり イ間接職歴あり ウ家庭内ばく露あり エ立入・屋内環境ばく露あり オその他					ばく露歴分類案	備考(他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
6	男	1930代	なし	なし	受診せず	—	なし	●					ア		
7	女	1930代	⑨,⑩	⑨,⑩	受診せず	—	⑨,⑩	●					ア	気腫性変化	
8	女	1940代	②,⑥,⑩	②,⑥,⑩	受診せず	—	②,⑥,⑩	●					ア	気腫性変化	
9	男	1940代	②,⑤,⑥,⑩	受診せず	受診せず	—	②,⑤,⑥,⑩	●					ア	肺気腫、気管支拡張	
10	女	1920代	②	受診せず	受診せず	—	②	●					ア		
11	男	1950代	⑩	⑩	受診せず	—	⑩	●					ア	右中野、左下野不整形陰影	
12	女	1940代	なし	なし	受診せず	—	なし	●					ア		
13	女	1940代	②,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑨	●					ア		
14	女	1930代	なし	受診せず	受診せず	—	なし	●					ア		
15	女	1920代	②,⑧,⑩	②,⑧,⑩	受診せず	—	②,⑧,⑩	●					ア	気管支拡張	
16	男	1940代	②	②,⑩	受診せず	—	②,⑩	●					ア	左胸水疑い	
17	男	1930代	②	②	受診せず	—	②	●					ア		
18	男	1940代	②,⑨	②,⑨	受診せず	—	②,⑨	●					ア		
19	男	1940代	②,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑨	●					ア		
20	男	1930代	②	受診せず	受診せず	—	②	●					ア		
21	女	1940代	②,⑦,⑩	①,②,⑦,⑩	受診せず	—	①,②,⑦,⑩	●					ア	炎症後変化	
22	女	1930代	②	受診せず	受診せず	—	②	●					ア		
23	女	1930代	なし	なし	受診せず	—	なし	●					ア		
24	女	1930代	なし	受診せず	受診せず	—	なし	●					ア		
25	男	1940代	②,③,⑦,⑨	受診せず	受診せず	—	②,③,⑦,⑨	●					ア		
26	女	1920代	—	②,③	受診せず	—	②,③	●					ア		
27	女	1930代	—	なし	受診せず	—	なし	●					ア		
28	男	1960代	—	⑩	受診せず	—	⑩	●					ア	右S1+2巨大ブ ラ、右S8・3mm結 左S1+2結節8mm	
29	男	1940代	—	⑩	受診せず	—	⑩	●					ア		
30	男	1930代	—	⑧,⑨	受診せず	—	⑧,⑨	●					ア		
31	男	1930代	⑩	⑩	受診せず	—	⑩	●	●				ア	右中肺野結節、 右下野内側肺紋 理増強	
32	男	1960代	—	⑩	受診せず	—	⑩	●	●	●	●		ア	左横隔膜網状 影、両肺尖胸膜 気管支拡張	
33	女	1940代	⑩	受診せず	受診せず	—	⑩	●		●			ア	無気肺	
34	男	1940代	⑧,⑩	受診せず	受診せず	—	⑧,⑩	●		●			ア		
35	女	1940代	なし	受診せず	受診せず	—	なし	●		●			ア		
36	女	1940代	②	②	受診せず	—	②	●		●			ア		
37	女	1920代	②,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑨	●		●			ア		
38	女	1950代	②,⑩	②,⑩	受診せず	—	②,⑩	●		●			ア	前回のCTより経 過観察必要、粒	
39	男	1940代	②,③,⑤,⑥	②,③,⑤,⑥	受診せず	—	②,③,⑤,⑥	●		●			ア		
40	女	1940代	②,⑩	②,⑩	受診せず	—	②,⑩	●		●			ア	斑状影	
41	男	1950代	—	②	受診せず	—	②	●		●			ア		
42	女	1940代	なし	なし	受診せず	—	なし	●		●	●		ア		
43	男	1920代	②,⑩	②,⑧,⑩	受診せず	—	②,⑧,⑩	●		●	●	●	ア	気腫性変化	
44	男	1930代	⑧,⑨	受診せず	受診せず	—	⑧,⑨	●		●		●	ア		
45	男	1940代	②,⑧,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑧,⑨	●		●		●	ア		
46	女	1940代	②,⑤,⑥,⑧	②,⑤,⑥,⑧	受診せず	—	②,⑤,⑥,⑧	●		●		●	ア		
47	女	1930代	②	②	受診せず	—	②	●		●		●	ア		
48	男	1930代	⑤,⑥,⑨,⑩	⑤,⑥,⑨,⑩	受診せず	—	⑤,⑥,⑨,⑩	●		●		●	ア	心肥大	

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	A直接職歴あり I間接職歴あり U家庭内ばく露あり E立入・屋内環境ばく露あり Oその他					ばく露歴分類案	備考(その他所見)	備考(終了理由)
								A	I	U	E	O			
49	女	1930代	なし	受診せず	受診せず	—	なし	●		●		●	A		
50	男	1910代	②,③,⑥,⑨	②,③,⑥,⑨	受診せず	—	②,③,⑥,⑨	●		●		●	A		
51	男	1960代	-	⑩	受診せず	—	⑩	●			●		A	右S1小結節影 3mm	
52	男	1920代	②,⑤,⑩	受診せず	受診せず	—	②,⑤,⑩	●				●	A	気管支拡張	
53	女	1940代	なし	受診せず	受診せず	—	なし	●				●	A		
54	女	1930代	-	なし	受診せず	—	なし	●				●	A		
55	男	1940代	-	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	A	右S8、左S8結節	
56	女	1950代	⑧,⑩	受診せず	受診せず	—	⑧,⑩		●				I	気腫性変化	
57	男	1940代	②,⑨,⑩	受診せず	受診せず	—	②,⑨,⑩		●				I	上葉切除後	
58	男	1930代	-	②,⑤	受診せず	—	②,⑤		●				I		
59	男	1940代	-	⑩	受診せず	—	⑩		●				I	左葉間結節	
60	男	1960代	-	②,⑩	受診せず	—	②,⑩		●				I	右葉間胸膜限局性肥厚、右上葉境界不鮮明GGO	
61	男	1950代	⑨,⑩	受診せず	受診せず	—	⑨,⑩		●	●			I	気腫性変化	
62	男	1920代	②,⑤,⑦	受診せず	受診せず	—	②,⑤,⑦		●	●			I		
63	男	1960代	なし	なし	受診せず	—	なし		●			●	I		
64	男	1930代	②,⑥,⑧,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑥,⑧,⑨		●			●	I	-	
65	女	1940代	②,⑨,⑩	②,⑨,⑩	受診せず	—	②,⑨,⑩		●			●	I	右中肺野結節増大	
66	女	1930代	なし	なし	受診せず	—	なし			●			U		
67	男	1950代	⑧,⑨,⑩	受診せず	受診せず	—	⑧,⑨,⑩			●			U	肺気腫	
68	女	1960代	⑩	受診せず	受診せず	—	⑩			●	●		U	ブラ	
69	女	1930代	②	②	受診せず	—	②			●	●	●	U		
70	女	1950代	なし	なし	受診せず	—	なし			●	●	●	U		
71	男	1950代	②	②	受診せず	—	②			●		●	U		
72	女	1950代	②	②	受診せず	—	②			●		●	U		
73	女	1940代	なし	なし	受診せず	—	なし				●		E		
74	男	1950代	-	⑩	受診せず	—	⑩				●	●	E	右S1軽度胸膜肥厚	
75	男	1920代	-	⑩	受診せず	—	⑩				●	●	E	左肺尖胸膜肥厚	
76	女	1930代	-	⑩	受診せず	—	⑩				●	●	E	右S1結節	
77	女	1960代	-	⑩	受診せず	—	⑩				●	●	E	右肺尖ブラ	
78	男	1930代	②,⑩	②,⑩	受診せず	—	②,⑩					●	O	肋骨横隔膜角鈍化	
79	女	1940代	⑩	⑩	受診せず	—	⑩					●	O	気管支拡張	
80	女	1940代	②,⑧,⑨	受診せず	受診せず	—	②,⑧,⑨					●	O		
81	女	1950代	なし	受診せず	受診せず	—	なし					●	O		
82	男	1950代	⑩	⑩	受診せず	—	⑩					●	O	OP後	
83	女	1920代	⑥	受診せず	受診せず	—	⑥					●	O		
84	男	1930代	なし	⑩	受診せず	—	⑩					●	O	斑状影	
85	女	1940代	②,⑨	②,⑨	受診せず	—	②,⑨					●	O		
86	男	1950代	なし	なし	受診せず	—	なし					●	O		
87	男	1950代	⑨,⑩	⑨,⑩	受診せず	—	⑨,⑩					●	O	ブラ	
88	女	1920代	②,⑩	受診せず	受診せず	—	②,⑩					●	O	気管支拡張	
89	女	1940代	なし	なし	受診せず	—	なし					●	O		
90	女	1930代	なし	なし	受診せず	—	なし					●	O		
91	男	1930代	②	②	受診せず	—	②					●	O		
92	女	1960代	-	なし	受診せず	—	なし					●	O		
93	男	1920代	-	②,⑤	受診せず	—	②,⑤					●	O		

症例番号	性別	生年(西暦)	2006年度所見	2007年度所見	2008年度X線所見	2008年度CT	最新の所見	ア.直接職歴あり イ.間接職歴あり ウ.家庭内ばく露あり エ.立入・屋内環境ばく露あり オ.その他					ばく露歴分類案	備考(他所見)	備考(終了理由)
								ア	イ	ウ	エ	オ			
94	女	1940代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	左下葉線状影	
95	男	1920代	-	②,⑩	受診せず	-	②,⑩					●	オ	old pleuritis 石灰化あり	
96	女	1930代	-	③,⑩	受診せず	-	③,⑩					●	オ	両肺尖胸膜肥厚	
97	男	1950代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	舌区炎症後変化	
98	男	1930代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	左腎のう胞、右下肺石灰化小結節、右肺門縦隔石灰化リンパ節、両肺尖胸膜肥厚	
99	女	1940代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	左中肺野結節	
100	女	1920代	-	③	受診せず	-	③					●	オ		
101	男	1960代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	前縦隔腫瘤	
102	女	1930代	-	⑩	受診せず	-	⑩					●	オ	心陰影拡大、気管支拡張、右上中葉索状影	
103	男	1930代	-	なし	受診せず	-	なし					●	オ		
計103名(男性:51名、女性:52名)								55	12	28	12	49			

注1: 医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関する可能性がある①～⑩及びその他の所見を確認する(重複含む)。

- ①胸水貯留が認められる者
- ②胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- ③びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤胸膜下曲線様陰影が認められる者
- ⑥肺野の間質影が認められる者
- ⑦円形無気肺が認められる者
- ⑧肺野の腫瘍状陰影が認められる者
- ⑨リンパ節の腫大が認められる者
- ⑩その他の所見が認められる者

注2: ばく露歴については、該当するものすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇1丁目に居住)していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3: ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考慮される場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 経過観察・終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注5: 備考欄については、特記事項を記入する

(例1: X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2: 石綿救済制度や労災制度の認定や申請中である旨の記入 等)

B表:平成2年以前に泉南地域又は河内長野市に居住していた者のばく露歴集計表

ア.直接職 歴あり	イ.間接職 歴あり	ウ.家庭内ば く露あり	エ.立入・屋内環境 ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
●					95	27
●	●				9	0
●	●	●			0	0
●	●	●	●		0	0
●	●	●	●	●	0	0
●	●	●		●	1	1
●	●		●		0	0
●	●		●	●	1	1
●	●			●	1	0
●		●			27	16
●		●	●		2	2
●		●	●	●	2	0
●		●		●	14	8
●			●		3	0
●			●	●	6	0
●				●	28	6
	●				19	3
	●	●			3	2
	●	●	●		0	0
	●	●	●	●	0	0
	●	●		●	2	2
	●		●		3	0
	●		●	●	2	1
	●			●	22	9
		●			12	8
		●	●		7	4
		●	●	●	2	2
		●		●	20	16
			●		6	1
			●	●	29	13
				●	142	94
計*	189	63	92	63	272	
うち女性*	61	19	61	24	153	

* 縦計については重複計上

B-2表:平成2年以前に泉南地域又は河内長野市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表

年齢別	計	うち 女性	ア.主に 直接職歴	うち 女性	イ.主に 間接職歴	うち 女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち 女性	エ.主に 立入・屋 内環境	うち 女性	オ.そ その他	うち 女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40~49歳	49	24	7	1	14	4	10	6	7	4	11	9
50~59歳	90	47	22	7	9	3	12	9	12	4	35	24
60~69歳	169	81	82	25	17	5	14	11	8	3	48	37
70~79歳	133	56	73	25	10	4	5	4	7	3	38	20
80~89歳	16	7	4	2	1	1	0	0	1	0	10	4
90~99歳	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	458	216	189	61	51	17	41	30	35	14	142	94

C表：平成2年以前に泉南地域又は河内長野市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表
(C-1 所見について)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	152	58	96	29	12	4	13	6	5	3	26	16
①胸水貯留あり	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
②胸膜プラークあり	129	49	85	26	9	3	11	6	5	3	19	11
③びまん性胸膜肥厚あり	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍疑いあり	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
⑤胸膜下曲線様陰影あり	10	6	8	5	0	0	1	1	0	0	1	0
⑥肺野間質影あり	20	7	19	6	0	0	1	1	0	0	0	0
⑦円形無気肺あり	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1
⑧肺野の腫瘤状陰影あり	12	6	7	3	0	0	0	0	0	0	5	3
⑨リンパ節の腫大あり	46	16	28	8	7	2	5	2	1	0	5	4
⑤または⑥が確認された者の実人数	23	8	21	7	0	0	1	1	0	0	1	0

(C-2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表)

①胸水貯留

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
80～89歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

※疑いを含む

②胸膜プラーク

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	5	2	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0
50～59歳	10	3	4	1	1	0	2	0	1	0	2	2
60～69歳	49	17	37	10	3	0	3	3	1	1	5	3
70～79歳	56	22	39	12	3	1	2	2	2	2	10	5
80～89歳	8	4	4	2	1	1	0	0	1	0	2	1
90～99歳	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	129	49	85	26	9	3	11	6	5	3	19	11

※疑いを含む

③びまん性胸膜肥厚

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に家 庭内ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※疑いを含む

⑤胸膜下曲線様陰影または⑥肺野間質影

年齢別	計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	12	5	11	4	0	0	1	1	0	0	0	0
70～79歳	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
90～99歳	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	8	21	7	0	0	1	1	0	0	1	0

※疑いを含む

(C-3 調査対象者の状況)

年齢別	計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性		
経過観察者	458	216	189	61	51	17	41	30	35	14	142	94
調査終了者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	458	216	189	61	51	17	41	30	35	14	142	94

D表：ばく露歴分類が「オ（その他）」の者とプロット数との関係

	泉南市		阪南市		岸和田市		貝塚市	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	12	15	1	2	1	1	2	2
他の所見あり	2	2	1	1	0	0	2	4
所見なし	12	13	6	8	5	5	1	4
合計	26	30	8	11	6	6	5	10

泉佐野市		河内長野市		合計	
プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
0	0	3	5	19	25
0	0	1	1	6	8
1	1	60	75	85	106
1	1	64	81	110	139

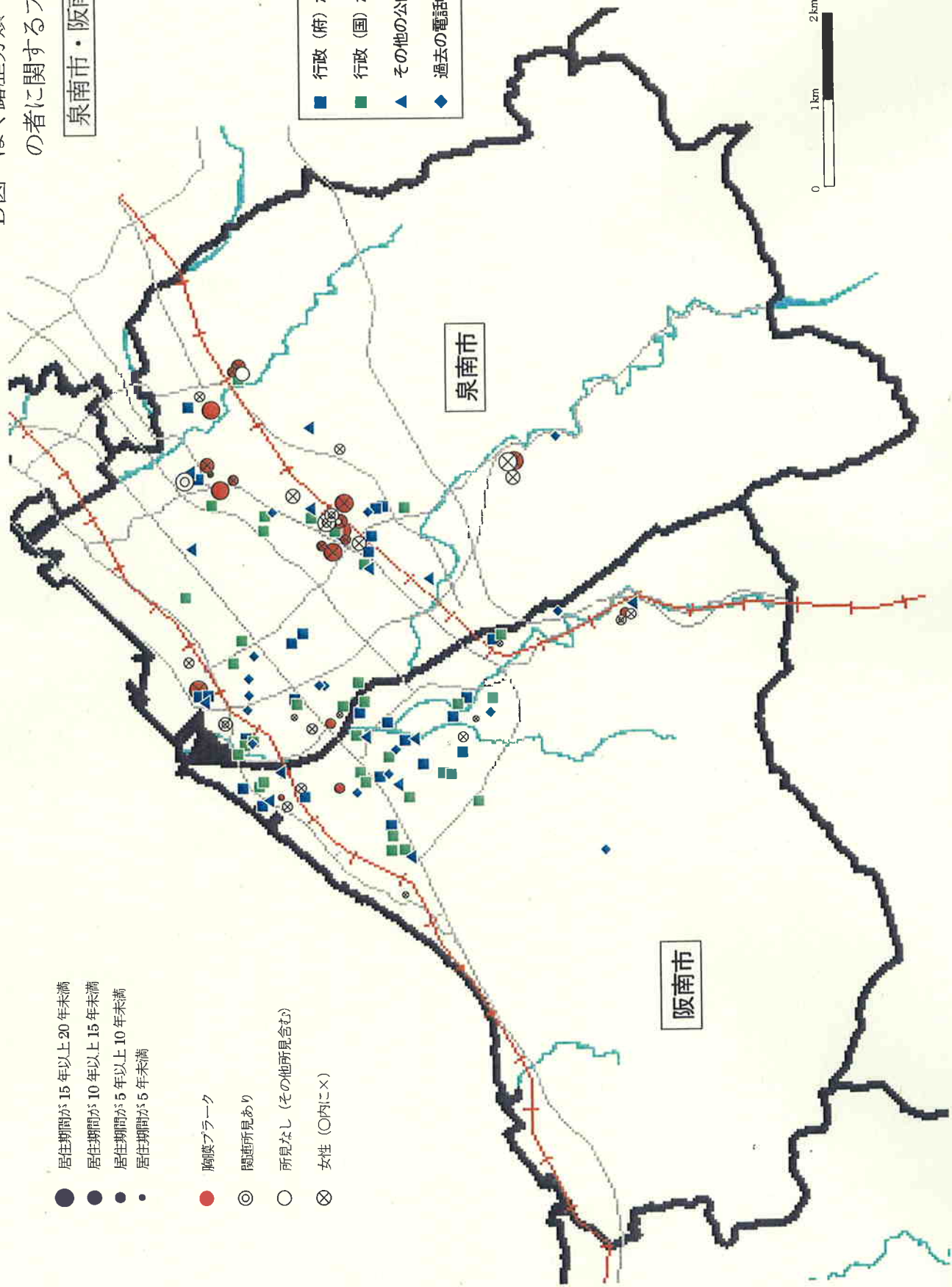
※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。

D図 ばく露歴分類「オ(その他)」
の者に関するプロット図

- 居住期間が15年以上20年未満
- 居住期間が10年以上15年未満
- 居住期間が5年以上10年未満
- 居住期間が5年未満

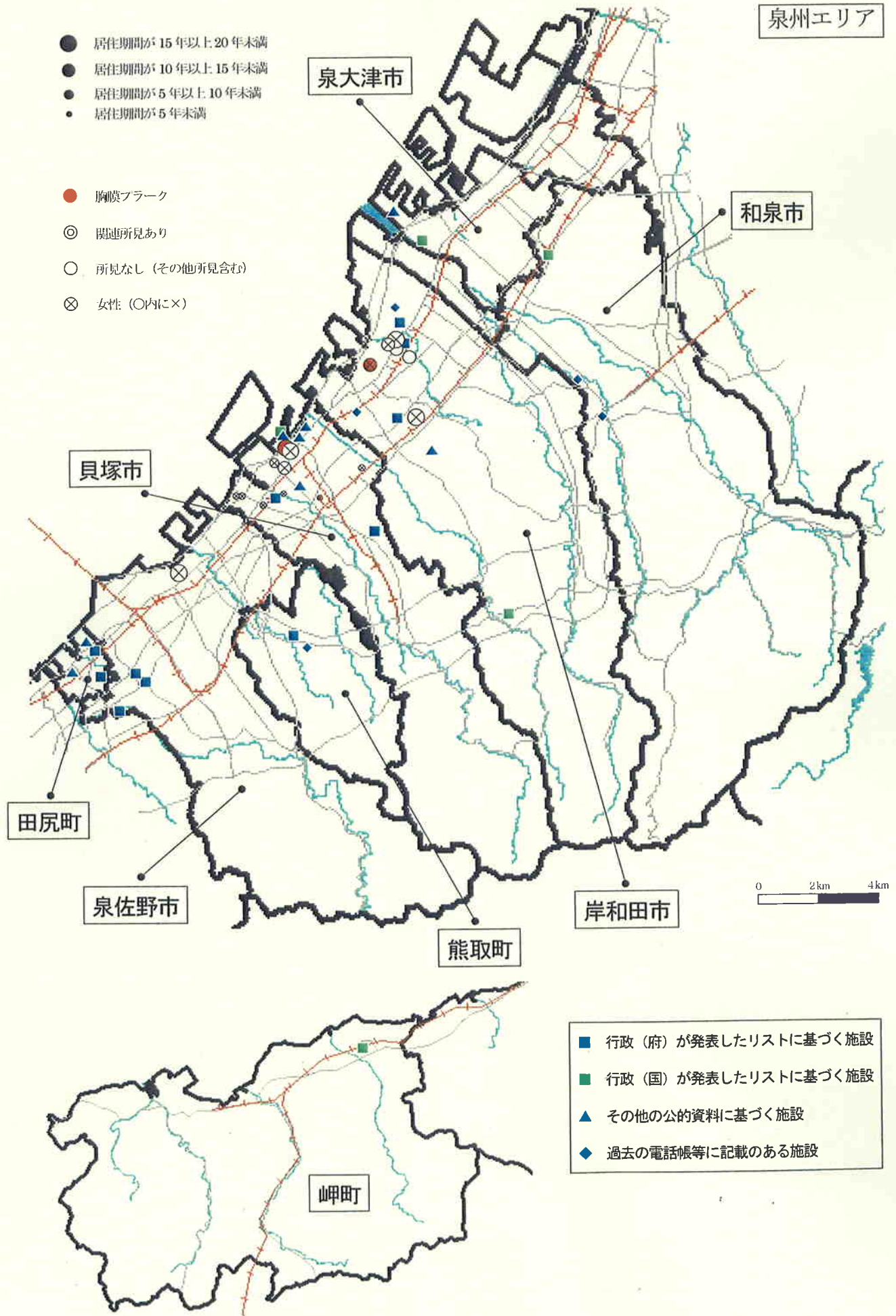
- 胸膜ブランク
- ◎ 関連所見あり
- 所見なし(他所見含む)
- ⊗ 女性(○内に×)

泉南市・阪南市エリア



- 行政(府)が発表したリストに基づく施設
- 行政(国)が発表したリストに基づく施設
- ▲ その他の公的資料に基づく施設
- ◆ 過去の電話帳等に記載のある施設

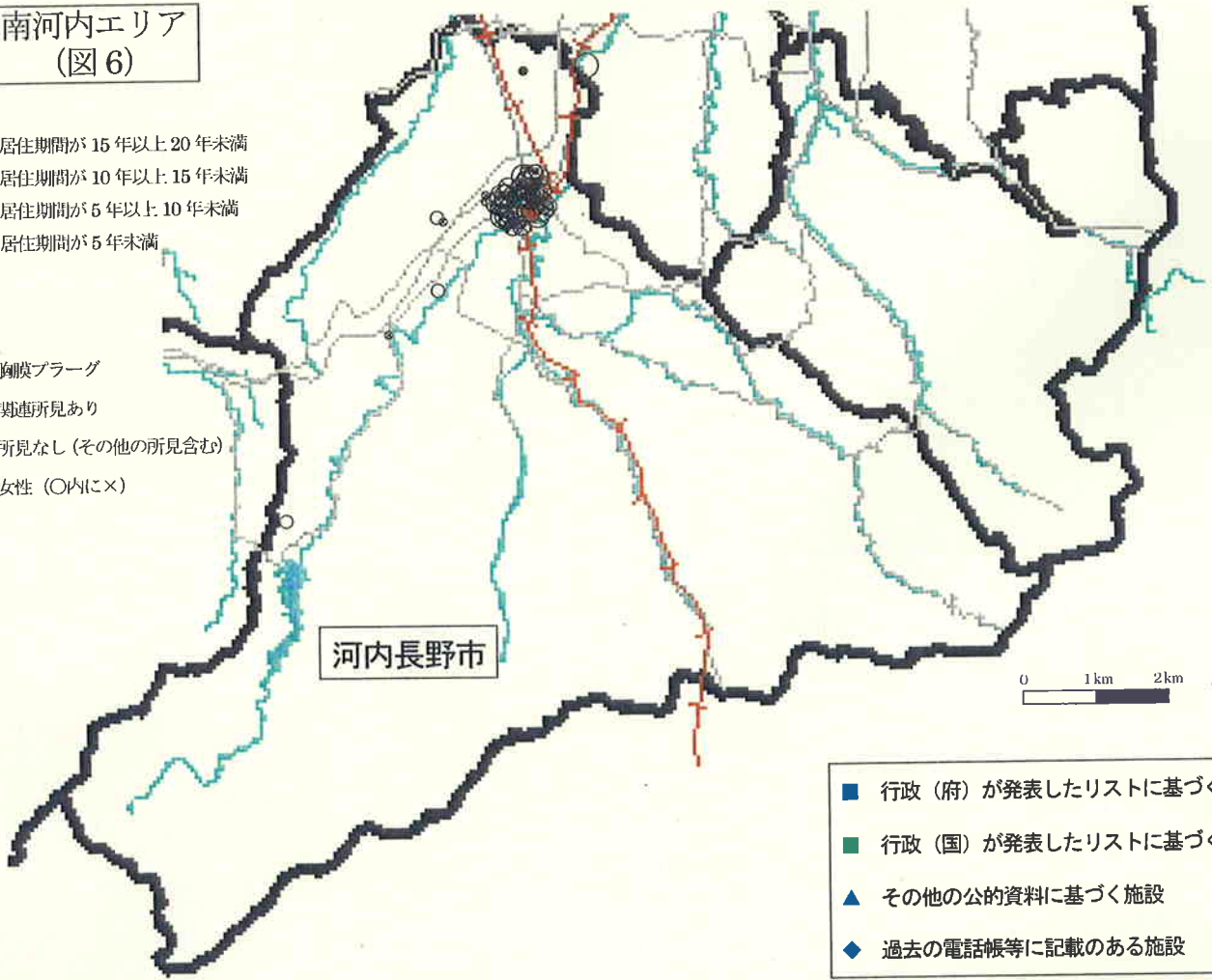
D図 ばく露歴分類「オ（その他）」の者に関するプロット図



南河内エリア
(図6)

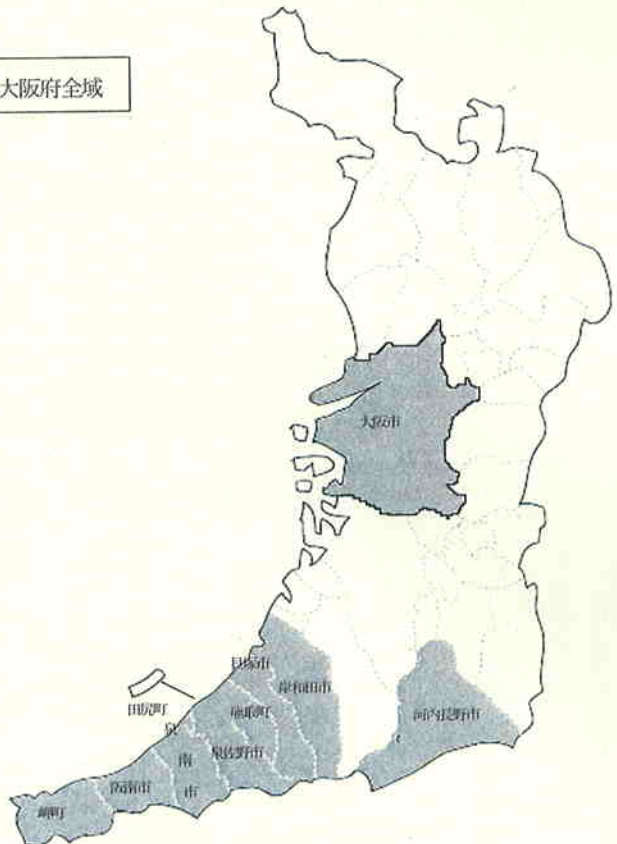
- 居住期間が15年以上20年未満
- 居住期間が10年以上15年未満
- 居住期間が5年以上10年未満
- 居住期間が5年未満

- 胸膜プラーグ
- ◎ 関連所見あり
- 所見なし(その他の所見含む)
- ⊗ 女性(○内に×)



- 行政(府)が発表したリストに基づく施設
- 行政(国)が発表したリストに基づく施設
- ▲ その他の公的資料に基づく施設
- ◆ 過去の電話帳等に記載のある施設

大阪府全域



石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成19年度以前の石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

照会を行った結果、肺がん6人、石綿肺3人、びまん性胸膜肥厚2人と医療機関で診断され、中皮腫および良性石綿胸水と診断された者はなかった。

このうち、石綿救済制度で認定された者は確認できなかったが、労災制度で認定された者が石綿肺で2人、びまん性胸膜肥厚で2人であったことが確認された。

平成19年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち 女性	ア主に 直接職 歴	うち 女性	イ主に 間接職 歴	うち 女性	ウ主に 家庭内 ばく露	うち 女性	エ主に 立入・屋 内環境 ばく露	うち 女性	オ.その 他	うち 女性
対象者	11	6	7	3	1	1	0	0	1	1	2	1
石綿関連疾患(疑いを含む)	5(1)	3(1)	4(1)	2(1)	1	1	0	0	0	0	0	0
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	3(1)	1(1)	3(1)	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成18年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち 女性	ア主に 直接職 歴	うち 女性	イ主に 間接職 歴	うち 女性	ウ主に 家庭内 ばく露	うち 女性	エ主に 立入・屋 内環境 ばく露	うち 女性	オ.その 他	うち 女性
対象者	10	3	7	2	2	0	0	0	0	0	1	1
石綿関連疾患(疑いを含む)	6	1	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0
a 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b 肺がん	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
c 石綿肺	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
d 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e びまん性胸膜肥厚	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

4. 考察

上記調査の結果、次のことが確認された。

- 調査協力者 458 名のうち石綿ばく露に関連する可能性がある医学的所見のある者が 152 名 (33.2%) いた。そのうち胸膜プラークのある者が 129 名 (84.9%)、リンパ節の腫大がある者が 46 名 (30.3%) いた。
- 石綿関連による医学的所見が見られた調査協力者 152 名のうち、石綿に関わる何らかの職業歴や家庭内ばく露歴等のある者が 127 名 (82.9%) おり、具体的なばく露歴が特定されない者も 26 名 (17.1%) いた。
- 具体的なばく露歴の特定されない者のうち、石綿関連による医学的所見で多い順に、胸膜プラークが 19 例 (73.1%)、肺野の腫瘤状陰影が 5 例 (19.2%)、リンパ節の腫大が 5 例 (19.2%) であった。
- 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者 152 例を年齢階層別に見ると 60 歳以上の者が 120 例 (78.9%) いた。
- ばく露の可能性が特定されない者 26 名中の全員が居住地近傍に石綿取扱い施設があったとしている。
- 胸水貯留が認められた 2 名は、いずれも具体的なばく露歴の特定されない者であった。
- 具体的なばく露歴の特定されない者 142 名のうち、昭和 30 年～50 年の泉南地域及び河内長野市の居住が特定できた 110 名について、その居住歴を地図上にプロットしたところ、139 プロットになった。
- プロット対象者 110 名のうち、河内長野市が 64 名 (58.2%)、泉南市が 26 名 (23.6%) であった。
- リスク調査対象者のうち前回受診ありの者 387 人中、不変 364 人、新所見 15 人、増悪 8 人となっている。
- 平成 20 年度に新たにリスク調査を受診した者が 71 名、平成 18 年度に受診し平成 19 年度に受診せず今年度受診した者が 18 名いた。

5. 今後の予定

次年度においても、2. 調査内容(エ)に示したとおり、継続調査を実施する。

6. 参考資料

- ・ 問診票
- ・ 大阪府アスベスト健康対策専門家会議委員一覧
- ・ 石綿健康影響観察ノート（別紙）



石綿の健康影響の評価調査のための検診問診票

受付番号 _____

ID番号 _____

※太枠のみ記入してください。

フリガナ				男・女	生年月日	明・大・昭・平
氏名						年 月 日 生 歳
現住所	〒	-	住所コード			電話番号
検診日	平成	年	月	日	団体名	団体使用欄1
検診番号	-				団体コード	団体使用欄2

※太枠のみ記入してください。(裏面にもあります。)

1. この健康リスク調査を受ける理由はなんですか。(○をつけてください。)		○をつけた場合、追加質問に記入願います。
(1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた。		
(2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいた。		
(3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。 (4) その他()		
2. あなたのこれまでの居住歴について、2枚目「居住歴」欄に記入してください。		
3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票の「①本人の通学歴、②本人の職歴、③家族の職歴」欄に記入してください。		
4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。(□にチェックをお願いします)		
□ ある(その場所とその時の状況) □ なし □ わからない		
5. 現在までに、肺の病気にかかったことがありますか。(□にチェックをお願いします)		「ある」にチェックした場合、保健師が次頁以降の追加質問に記入願います。
□ ある() □ なし		
6. 現在、何か症状がありますか。(□にチェックをお願いします)		
□ ある: 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他() □ なし		
7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。(□にチェックをお願いします)		
□ ある: (続柄) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他() □ なし		
8. 喫煙の有無 (□にチェックをお願いします)		
□ 現在も吸っている 1日平均 本 年間(通算 本)		
□ 過去に吸っていた 1日平均 本 年間 止めた時期 年前(通算 本)		
□ 普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時:) □ 吸ったことがない		
9. これまでの胸部X線検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期(年 月ごろ)・医療機関名() 結果:	
10. これまでの胸部CT検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期(年 月ごろ)・医療機関名() 結果:	
11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば、記入してください。		領収印
		問診者

③ ご家族の職歴（当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入）

続柄	従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄（⑥⑦以外は複数選択可）						
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
(記入例) 父	S25.4-S50.6	〇〇産業 (株)	〇県△市〇 町	石綿の吹き付け 作業を担当		11	2	3	1	2	3	1

続柄 通算 年 月
続柄 通算 年 月

○ 1に○をつけた場合

- 受診者の家庭生活等について記入願います（複数回答可）。
- 1 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。 年～ 年（通算 年）
 - 2 家族が石綿関連の仕事についており、道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。 年～ 年（通算 年）
 - 3 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。 年～ 年（通算 年）
 - 4 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
4の地域：
(都道府県市町村名)
 - 5 造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 年～ 年（通算 年）
5の地域：
(都道府県市町村名)
 - 6 倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 年～ 年（通算 年）
6の地域：
(都道府県市町村名)
 - 7 自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 年～ 年（通算 年）
7の地域：
(都道府県市町村名)
 - 8 幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。 年～ 年（通算 年）
8の地域：
(都道府県市町村名)
 - 9 吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある。 年～ 年（通算 年）
年～ 年（通算 年）
年～ 年（通算 年）
 - 10 いずれもない
 - 11 わからない

○ 5に○をつけた場合

- 現在までに、かかったことがある肺の病気について、ご記入願います。
- 1 肺結核
 - 2 結核性胸膜炎
 - 3 肺がん
 - 4 慢性気管支炎
 - 5 じん肺（石綿肺）
 - 6 間質性肺炎（肺繊維症）
 - 7 肺気腫
 - 8 原因不明の胸膜炎
 - 9 原因不明の胸水
 - 10 その他の呼吸器の病気（)

* 職歴に関するチェック項目（記入不要）

【①業種】

- | | |
|--|---|
| <p>1 鉱業</p> <p>11□ 石綿鉱業</p> <p>12□ その他の鉱業</p> <p>2 建設業</p> <p>21□ 石綿含有製品を取り扱う作業</p> <p>22□ 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業</p> <p>23□ その他の作業</p> <p>3 製造業</p> <p>30□ 石綿製品製造業</p> <p>31□ 清酒製造業</p> <p>32□ 化学工業</p> <p>33□ 石油製品・石炭製品製造業</p> <p>34 窯業・土石製品製造業</p> <p>341□ ガラス・同製品製造業</p> <p>342□ セメント・同製品製造業</p> <p>343□ 建設用粘土製品製造業（陶磁器製を除く）</p> <p>344□ 陶磁器・同関連製品製造業</p> <p>35□ 鉄鋼業</p> <p>36□ 非鉄金属製造業
（銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造）</p> <p>37□ 金属製品製造業</p> <p>38□ 一般・輸送用機械器具製造業</p> <p>39□ 造船業</p> <p>3a□ 食料品製造業</p> <p>3b□ 繊維工業</p> <p>3c□ その他の製造業</p> | <p>4 電気・ガス・熱供給・水道業</p> <p>41□ 配管・配線取扱い業</p> <p>42□ 電気業</p> <p>43□ ガス供給業</p> <p>44□ 熱供給業</p> <p>45□ 水道業</p> <p>5 運輸業</p> <p>51□ 鉄道業</p> <p>52□ 道路貨物運送業</p> <p>53□ 水運業</p> <p>54□ 倉庫業</p> <p>55□ 運輸に附帯するサービス業</p> <p>6 医療、福祉</p> <p>61□ 医療業</p> <p>7 サービス業</p> <p>71□ 廃棄物処理業</p> <p>72□ 自動車整備業</p> <p>73□ 機械等修理業</p> <p>74□ その他の事業サービス業</p> <p>8 □ 解体業</p> <p>9 □ その他（具体的に：_____）</p> <p>a □ 不明</p> <p>b □ なし</p> |
|--|---|

【②仕事内容】

- | | |
|--|--|
| <p>1 □ 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業</p> <p>3 □ 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業</p> <p>4 □ 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業</p> <p>5 □ 造船所内の作業（造船所における事務職を含めた全職種）</p> <p>7 □ 建築現場の作業（建築現場における事務職を含めた全職種）</p> <p>9 □ 港湾での荷役作業</p> <p>11 □ 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業</p> <p>13 □ 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業</p> <p>15 □ ガラス製品製造に関わる作業</p> <p>17 □ 清掃工場・廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業</p> <p>19 □ レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業</p> <p>20 □ 吹き付け石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業（教員 その他）</p> <p>21 □ エレベーター製造または保守に関わる作業</p> <p>23 □ ガスマスクの製造に関わる作業</p> <p>25 □ ゴム・タイヤの製造に関わる作業</p> <p>27 □ 映画放送舞台に関わる作業</p> <p>29 □ 酒類製造に関わる作業</p> <p>31 □ 歯科技工に関わる作業</p> <p>33 □ その他の石綿に関連する作業（_____）</p> <p>34 □ タルク等石綿含有物を使用する作業</p> <p>35 □ いずれもない</p> | <p>2 □ 石綿や石綿含有岩綿の吹き付け・貼り付け等作業</p> <p>6 □ 船に乗り込んで行う作業（船員 その他）</p> <p>8 □ 解体作業（建築物、構造物、石綿含有製品等）</p> <p>10 □ 発電所・変電所での作業</p> <p>12 □ 耐熱（耐火）服や耐火手袋等を使用した作業</p> <p>14 □ 自動車・トラック・鉄道等の運行に関わる作業</p> <p>16 □ 石油精製工場、化学工場内の精製・製造や配管修理等の作業</p> <p>18 □ 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業</p> <p>22 □ ランドリー・クリーニングに関わる作業</p> <p>24 □ 上下水道に関わる作業</p> <p>26 □ 道路建設・補修等に関わる作業</p> <p>28 □ 農業</p> <p>30 □ 消防に関する作業</p> <p>32 □ 金庫の製造・解体に関わる作業</p> <p>36 □ 不明（忘れた・覚えていない）</p> |
|--|--|

【③仕事で取り扱った材料・製品】

- | | | |
|---|--|----------------------------------|
| <p>1 □ 石綿原綿（わた・繊維）</p> <p>4 □ 石綿保温材・煙突材</p> <p>7 □ 石綿セメント管・石綿パイプ</p> <p>9 □ 石綿パッキング・ガスケット</p> <p>11 □ 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤</p> <p>12 □ 石綿含有摩擦材（プレーキパッドなど）</p> <p>14 □ いずれもない</p> | <p>2 □ 石綿吹き付け材</p> <p>5 □ 石綿含有屋根材、スレート</p> <p>8 □ 石綿含有ボード（外壁材・内装材）</p> <p>10 □ 石綿織物・布・ひも・ロープ・テープ・リボンなど</p> <p>13 □ その他の石綿製品（_____）</p> <p>15 □ わからない</p> | <p>3 □ 石綿フェルト</p> <p>6 □ 石綿紙</p> |
|---|--|----------------------------------|



石綿の健康影響の評価調査のための検診問診票

受付番号 _____

ID番号 _____

※太枠のみ記入してください。記入要領は裏面をご覧ください。

フリガナ				男・女	生年月日	明・大・昭・平
氏名						年 月 日生 歳
現住所	〒 - -			住所コード		電話番号
検診日	平成	年	月	日	団体名	団体使用欄1
検診番号	-				団体コード	団体使用欄2
検診番号	-					

その後の経過	
1. 前回の本健康リスク調査受診以後現在まで、何か気になること、又は新しい症状などありましたか。 <input type="checkbox"/> あった (その内容は何ですか。)() <input type="checkbox"/> なかった	
2. 現在、何か症状がありますか。 (□にチェックをお願いします) <input type="checkbox"/> ある : 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他() <input type="checkbox"/> なし	
3. 家族で新たに石綿関連疾患(中皮腫、肺がんなど)を発病した人はいますか。 <input type="checkbox"/> いる (その病名は何ですか。いつ頃ですか。)() <input type="checkbox"/> いない	
特記事項 (CT検査、通院、疾病の有無等をご記入願います。)	
	問診者
	医師

大阪府アスベスト健康対策専門家会議委員一覧

平成 21 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名
大阪府立公衆衛生研究所 所長	織田 肇
大阪府泉佐野保健所 所長	北内 京子
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 院長	楠 洋子
独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 院長	坂谷 光則
社団法人大阪府医師会 理事	武田 温裕
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 調査部長	津熊 秀明
独立行政法人国立病院機構 刀根山病院 副院長	前倉 亮治
独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院 院長	山田 義夫

*50 音順、敬称略